

国際航空貨物の市場動向とANAの戦略について



全日本空輸株式会社 取締役 専務執行役員 貨物事業担当
兼 株式会社ANA Cargo 代表取締役会長
外山 俊明



従業員数

998 人



貨物機保有数

11 機

B777F 2機
B767F 9機



年間輸送量

1,059,461 ton



世界貨物輸送量
ランキング

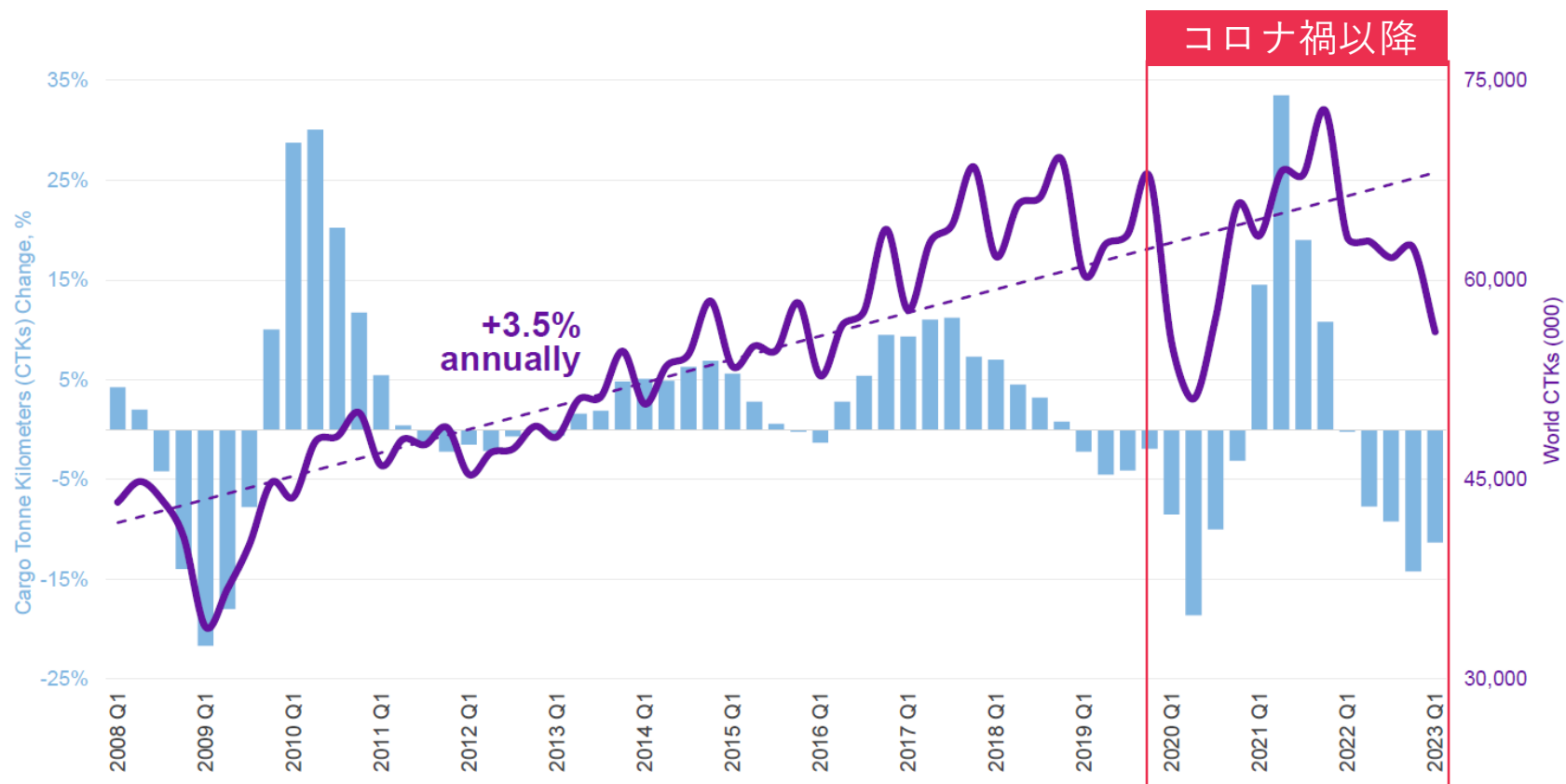
18 位

- 1 昨今の国際航空貨物市場動向（コロナ禍）
- 2 航空貨物の機会と課題
 - 2-1. 機会
 - 2-2. 課題
- 3 ANA貨物戦略
 - 3-1. コンセプト
 - 3-2. ネットワーク
 - 3-3. サービス品質向上とプロセス効率化
 - 3-4. ありたい姿

- 1 昨今の国際航空貨物市場動向（コロナ禍）
- 2 航空貨物の機会と課題
 - 2-1. 機会
 - 2-2. 課題
- 3 ANA貨物戦略
 - 3-1. コンセプト
 - 3-2. ネットワーク
 - 3-3. サービス品質向上とプロセス効率化
 - 3-4. ありたい姿

1-1. 市況概況

コロナ禍は物流業界に追い風、足元はコロナ前を下回る水準に



出典：Boeing

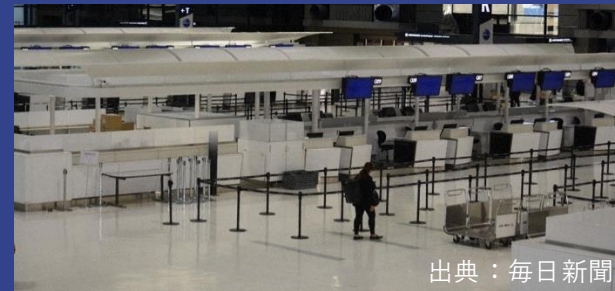
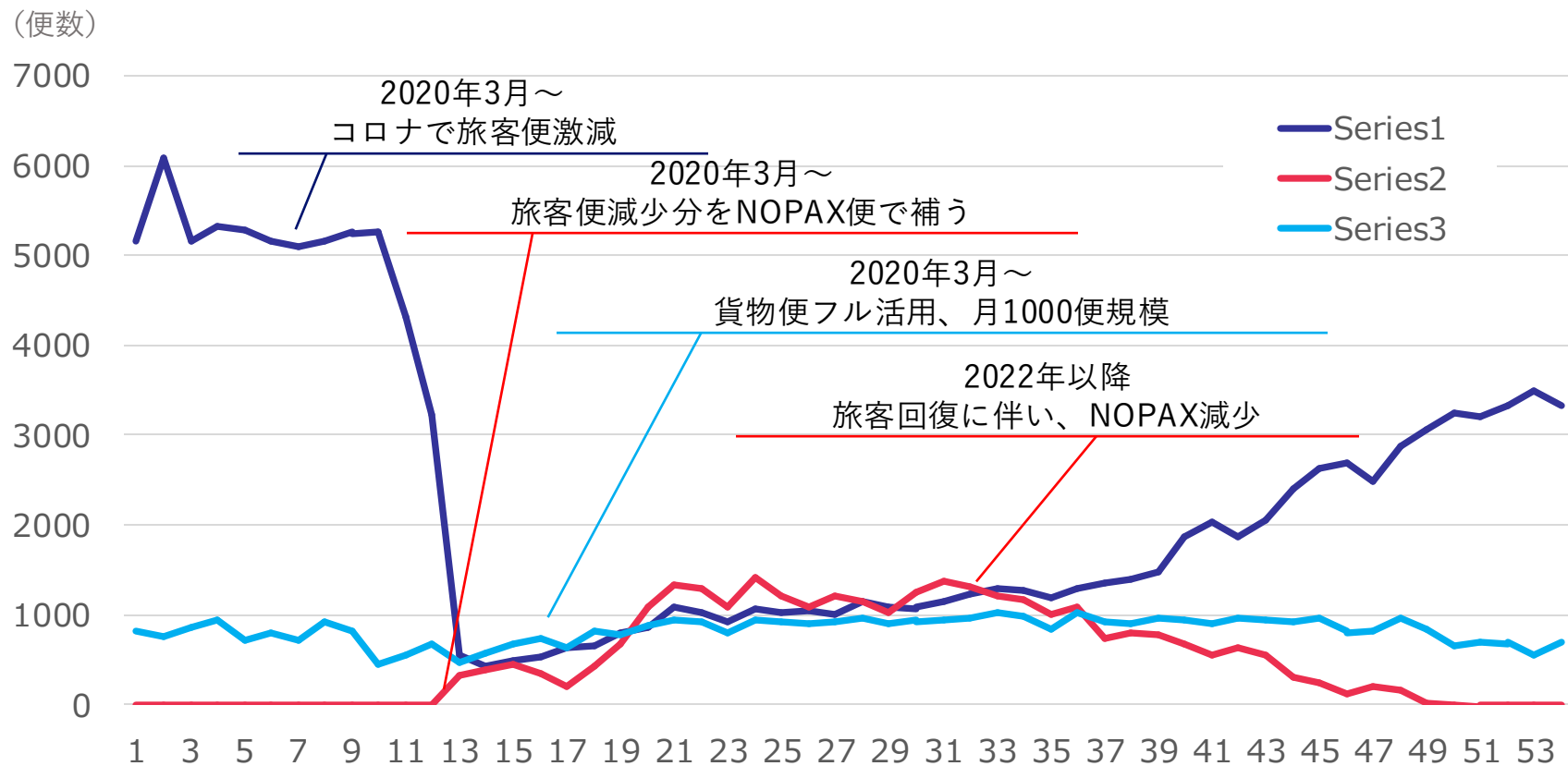


1-2.

コロナ禍でのANAの取り組み

物流を止めない！！

供給量最大化、柔軟な運航便設定で顧客ニーズに応える



出典：毎日新聞

閑散とする成田空港



マスクなどを客室に搭載。
エッセンシャルワーカーとしての矜持



北米向チャーター運航

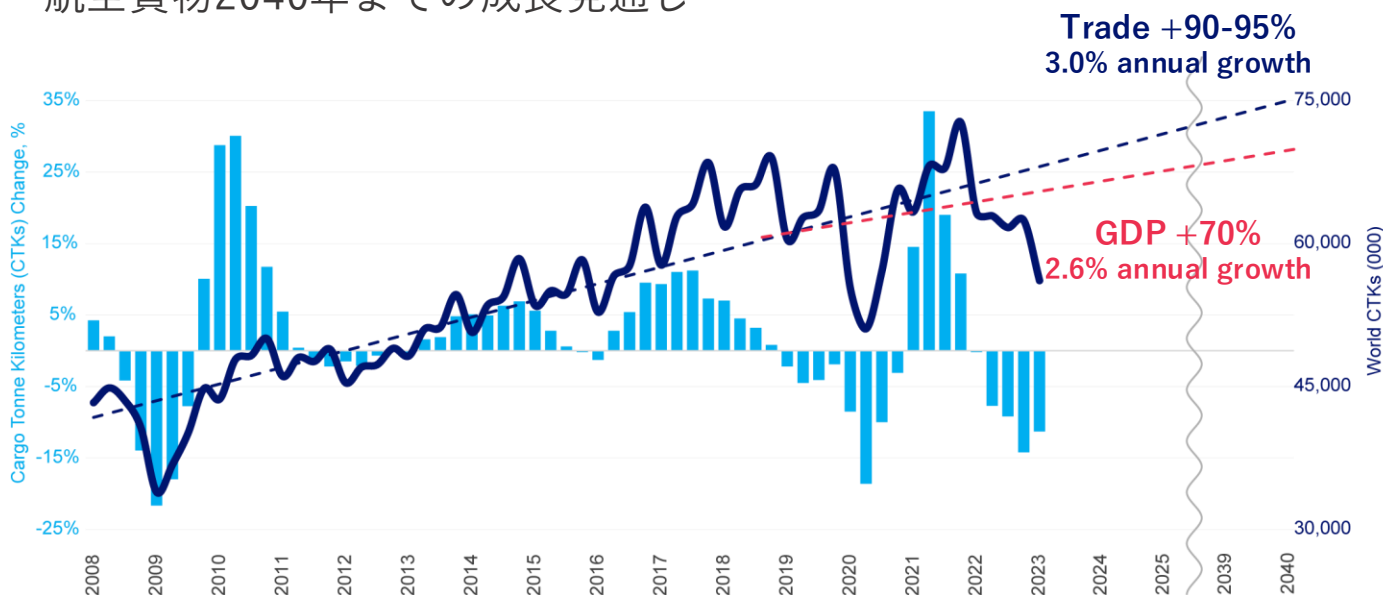
- 1 昨今の国際航空貨物市場動向（コロナ禍）
- 2 航空貨物の機会と課題
 - 2-1 機会
 - 2-2 課題
- 3 ANA貨物戦略
 - 3-1 コンセプト
 - 3-2 ネットワーク
 - 3-3 サービス品質向上とプロセス効率化
 - 3-4 ありたい姿

2-1-1. モノの流れが増える

経済成長に合わせて航空貨物需要も成長を続ける

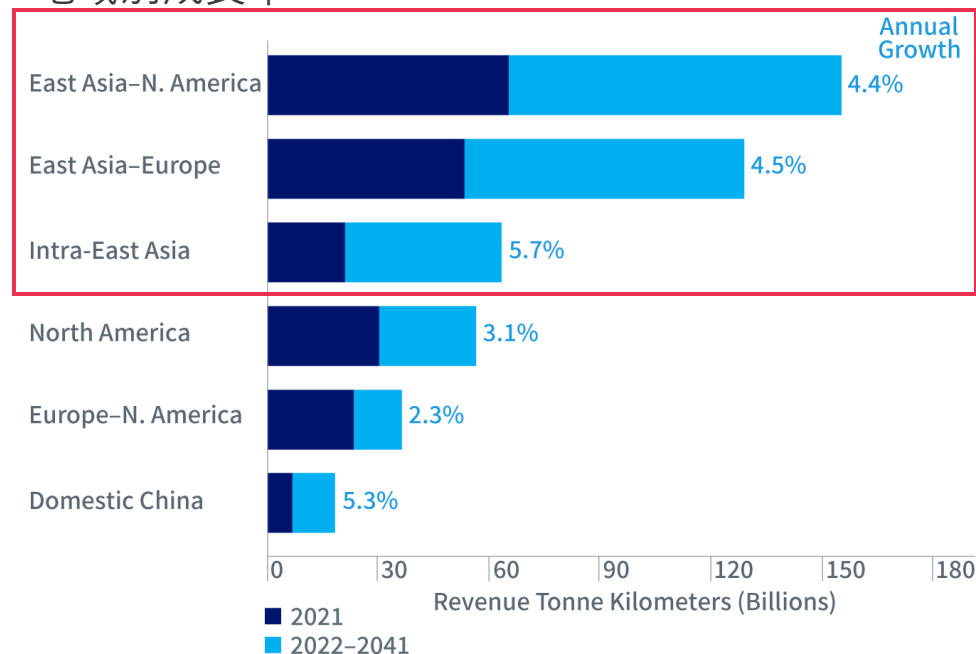
- 世界経済の成長に伴い、航空貨物市場も成長
- 中心はアジア→北米/欧州流動年率4%を超える成長を見込む
- イントラアジアもECなどの成長が見込まれ年率4.9%と成長率ではトップを見込む

航空貨物2040年までの成長見通し



出典: Boeing

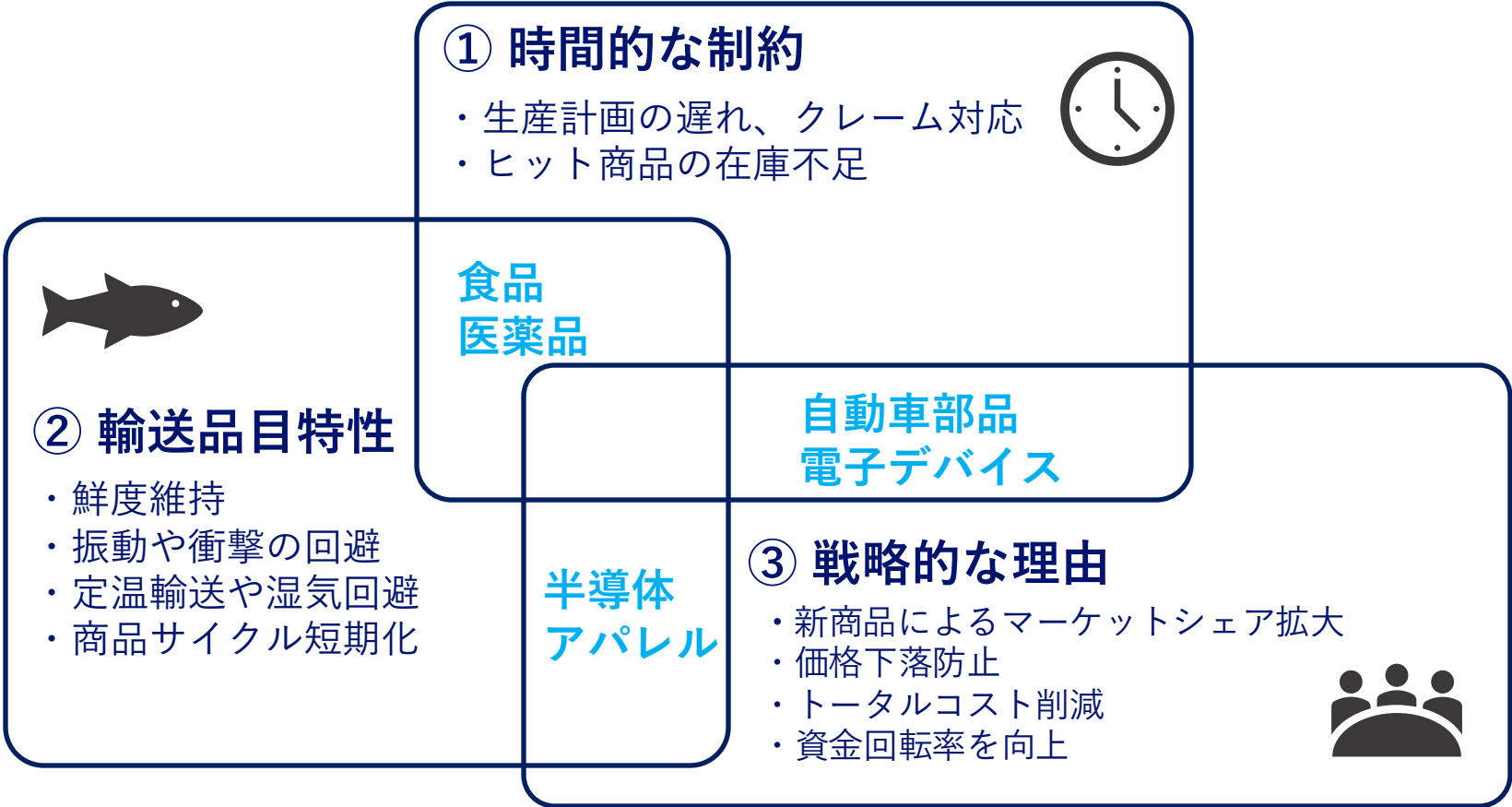
地域別成長率



2-1-2.
新しいモノの流れ

サプライチェーンの変化、ニーズの変化により新たな商流が誕生

通常航空貨物輸送を利用するケース



ANA輸送品目ランキング(2019年)

1	半導体・電子デバイス
2	自動車部品
3	化学・素材・繊維
4	産業機器
5	医薬・医療関連

2-1-2.

新しいモノの流れ

サプライチェーンの変化、ニーズの変化により新たな商流が誕生



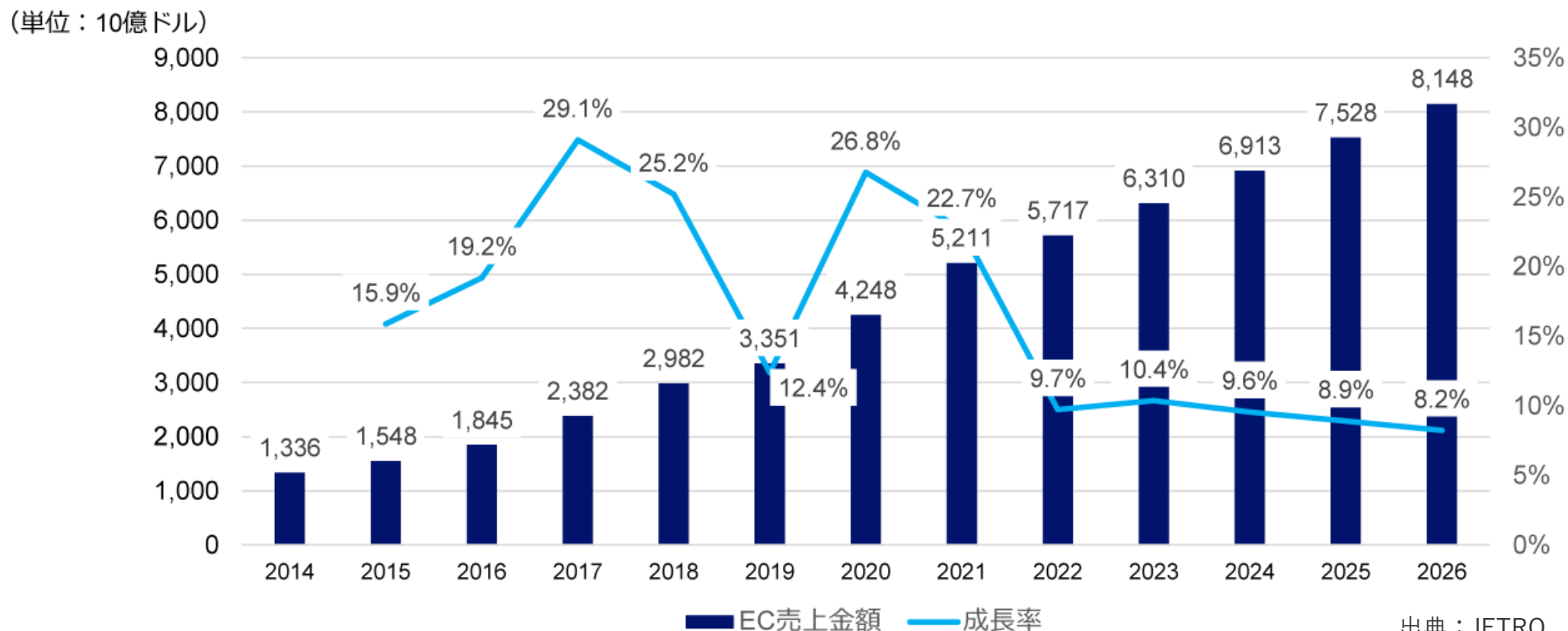
出典：レクサス

 **Rapidus**
jasm

2-1-3. モノの流れが変わる

ECがゲームチェンジャー
スピードと情報可視化が問われる時代に

世界のEC市場規模の推移

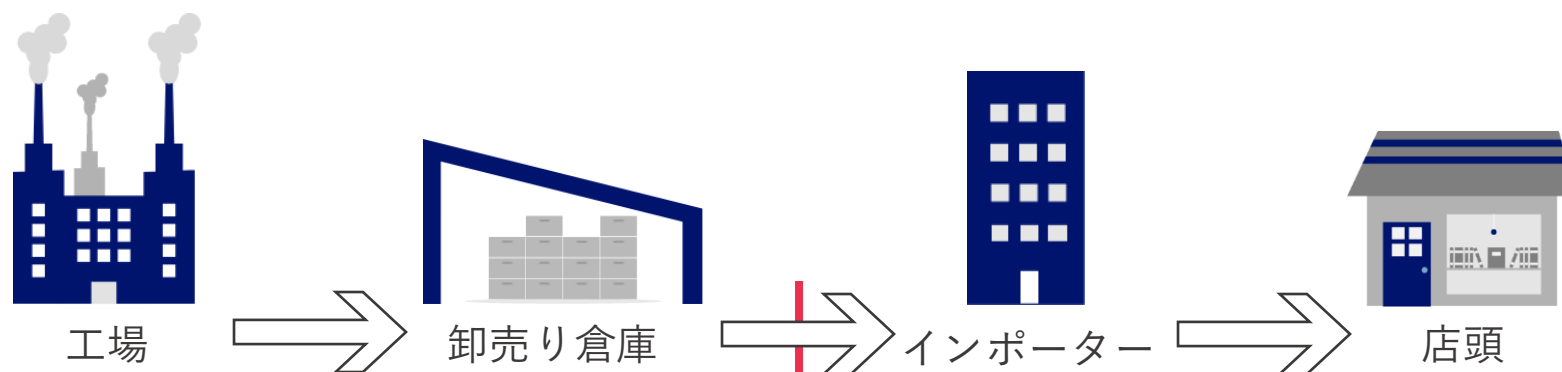


2-1-3. モノの流れが変わる

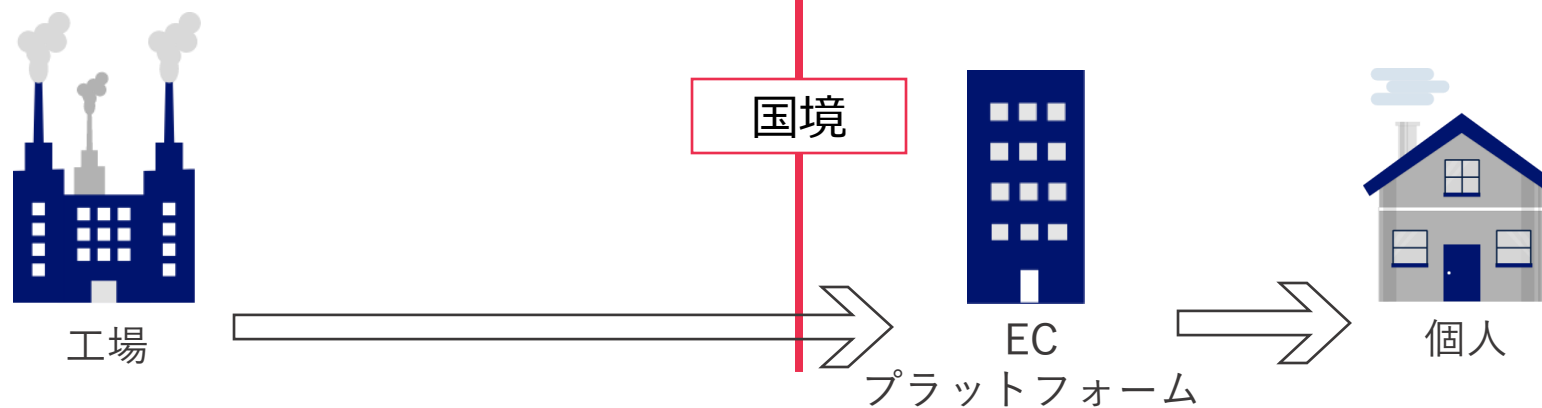
ECがゲームチェンジャー
スピードと情報可視化が問われる時代に



これまで



EC



- 1 昨今の国際航空貨物市場動向（コロナ禍）
- 2 航空貨物の機会と課題
 - 2-1 機会
 - 2-2 課題
- 3 ANA貨物戦略
 - 3-1 コンセプト
 - 3-2 ネットワーク
 - 3-3 サービス品質向上とプロセス効率化
 - 3-4 ありたい姿

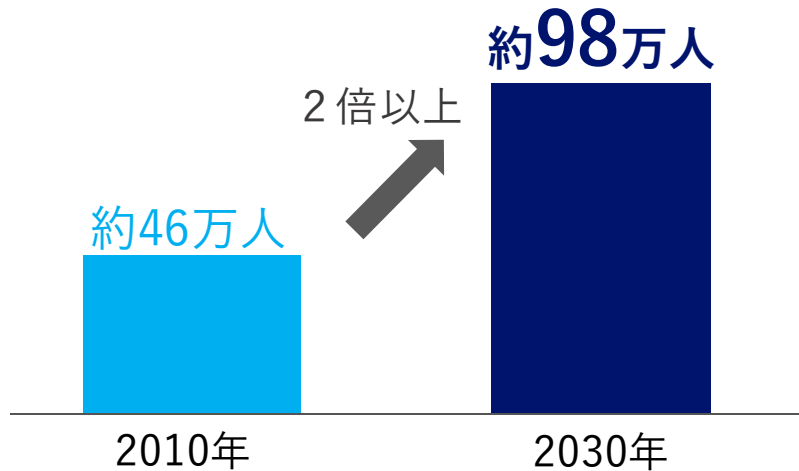
2-2-1. 人手不足

航空業界の労働者不足は深刻な問題、対応が急務

① パイロット2030年問題

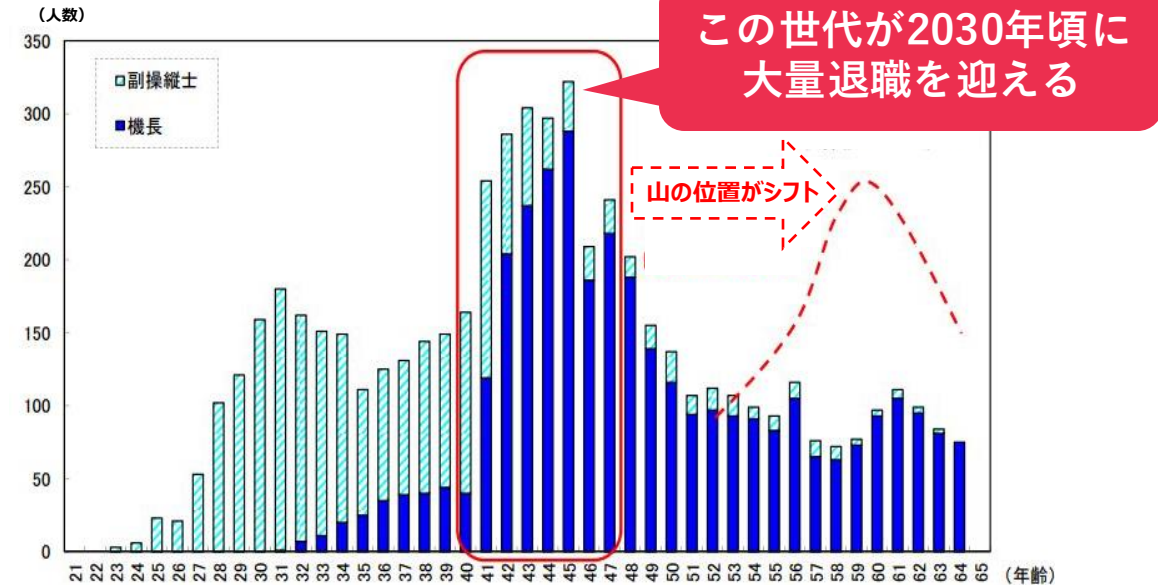


国際的なパイロットの需要(見通し)



国際民間航空機関 (ICAO) による予測

国内主要航空会社のパイロット年齢構成 (2013年)



出典：国土交通省航空局 就労実態調査による (2013年1月1日現在)

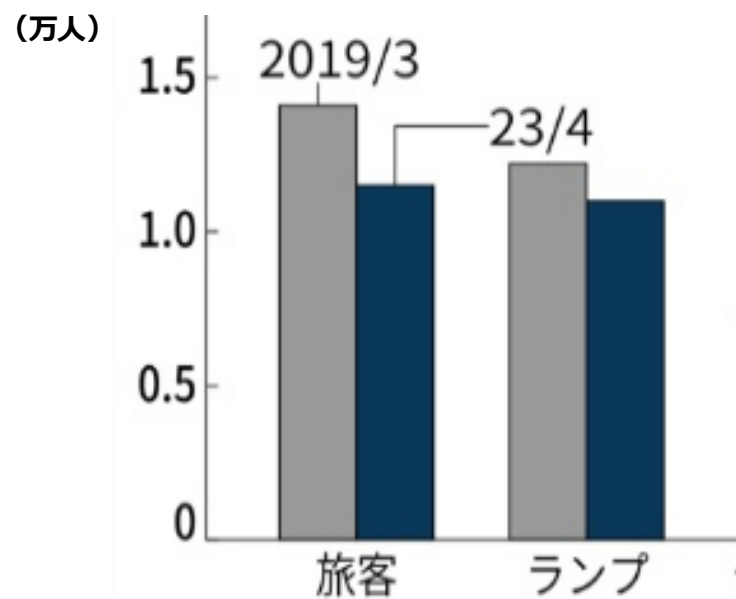
2-2-1. 人手不足

航空業界の労働者不足は深刻な問題、対応が急務

② 空港スタッフの人手不足も深刻



国内の空港スタッフ人員数



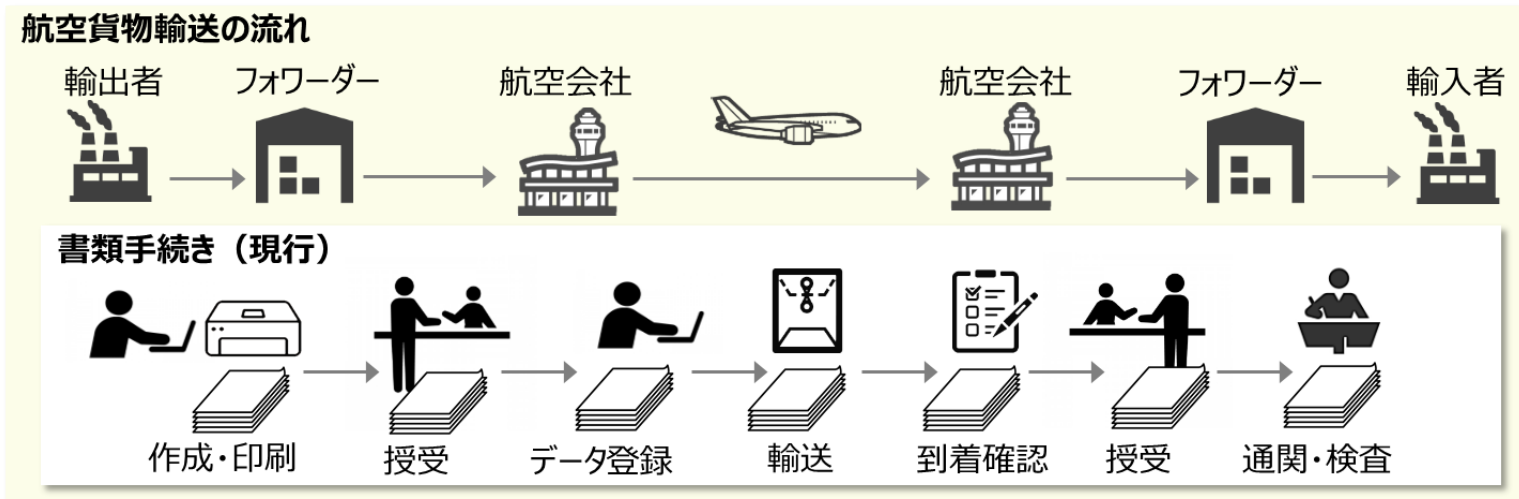
国土交通省資料より作成

空港グランドハンドリング協会設立（2023年8月）



2-2-2. 情報連携

サプライチェーン全体でプレイヤーが多く情報連携に不足あり、
シームレスな情報連携が今後の鍵に



書類の電子化を推進するプロジェクト
『e-freight』



- ✓ 書類削減
- ✓ 作業削減
- ✓ リードタイム短縮

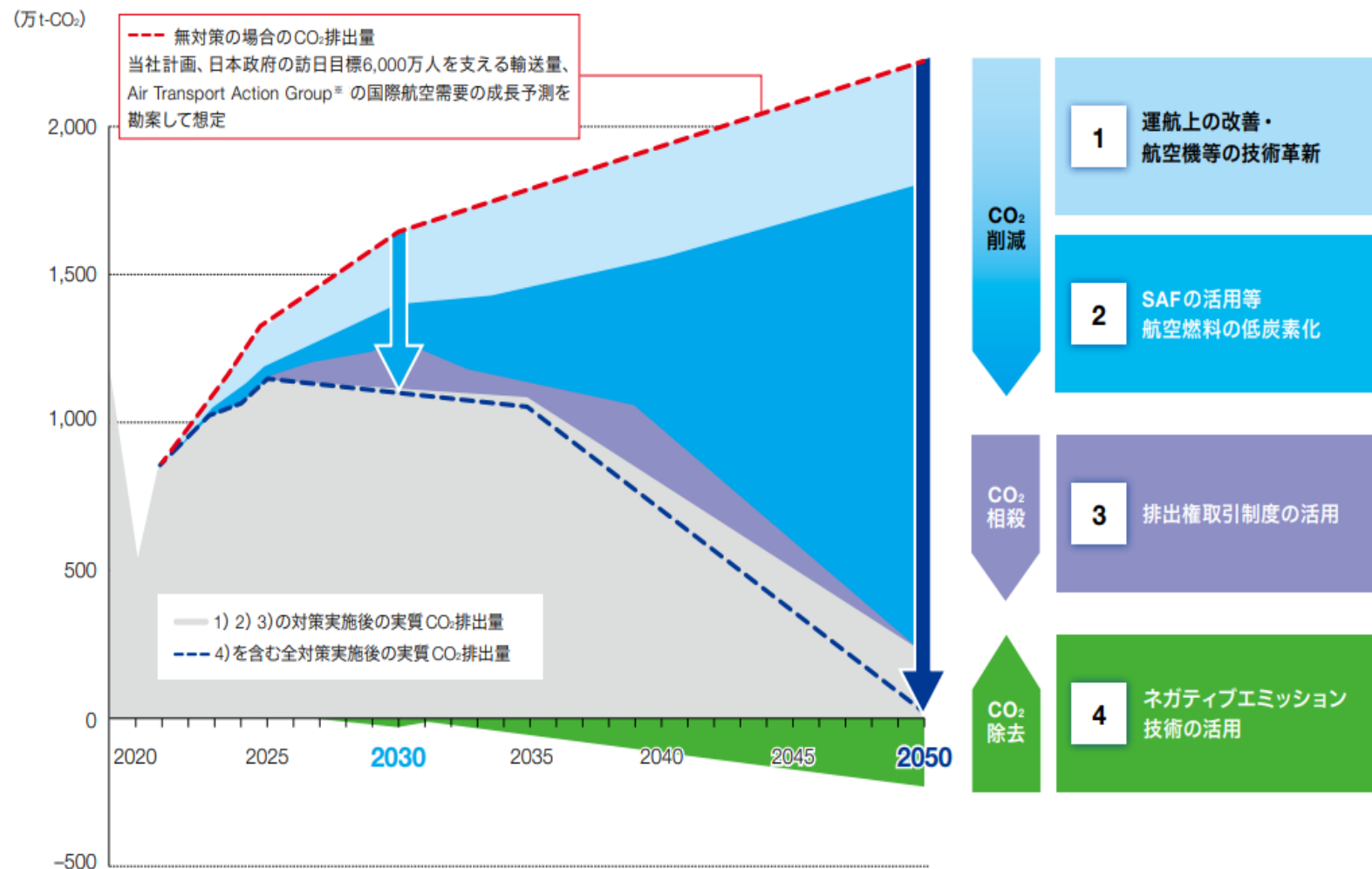
デジタル化の新標準
『ONE Record』



2-2-3. 環境対策

貨物も”飛び恥”時代突入 100%脱炭素のサプライチェーン構築をめざす

2050年
カーボンニュートラルへ向けた
トランジション・シナリオ



2-2-3. 環境対策

貨物も”飛び恥”時代突入 100%脱炭素のサプライチェーン構築をめざす

運航技術

Reverse Idle
着陸時の工夫



One Engine Taxi In / 地上走行

ANAの脱炭素プログラム



SAF Flight Initiative
For the Next Generation



出張で削減



貨物輸送で削減



- 1 昨今の国際航空貨物市場動向（コロナ禍）
- 2 航空貨物の機会と課題
 - 2-1 機会
 - 2-2 課題
- 3 **ANA貨物戦略**
 - 3-1 コンセプト**
 - 3-2 ネットワーク
 - 3-3 サービス品質向上とプロセス効率化
 - 3-4 ありたい姿

3-1. コンセプト

『Smart Cargoモデル』の実現

	顧客	従業員／パートナー	社会
simple	コンビネーション キャリア	ペーパーレス	安全の堅持
flexible	多様な輸送商品 ラインナップ	様々な働き方	社会ニーズへの 迅速な対応
most advanced	シームレスな 情報提供	業務プロセス改革	SDGsへの取組み

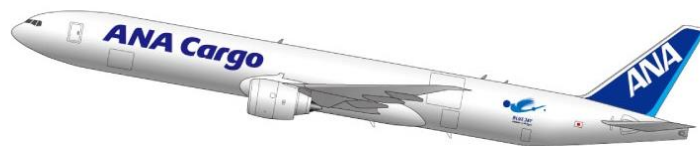
- 1 昨今の国際航空貨物市場動向（コロナ禍）
- 2 航空貨物の機会と課題
 - 2-1 機会
 - 2-2 課題
- 3 **ANA貨物戦略**
 - 3-1 コンセプト
 - 3-2 ネットワーク**
 - 3-3 サービス品質向上とプロセス効率化
 - 3-4 ありたい姿

3-2. ネットワーク

成長するアジア⇒欧米流動
多様な品目ニーズに対応できる貨物便ネットワークを構築



B777F



長距離路線の運航が可能
シカゴ、ロサンゼルス、上海などの
大動脈に投入

保有機材数：2 機
就航路線数：3 路線
搭載重量：100 ton

B767F



中短距離の運航に制限
アジア・中国主要路線 / 需要が
貨物>旅客の路線に投入

保有機材数：9 機
就航路線数：14 路線
搭載重量：50 ton

旅客便ベリー



長距離から近距離まで、原則毎日運航
使用機材は旅客需要に応じて決定する

保有機材数：225 機
就航路線数：75 地点 ※国際線のみ
搭載重量：1～30 ton

3-2-1.

日本貨物航空(NCA)のグループ化

大型貨物便から旅客便まで、
様々な”路線 x 機材”の組み合わせで多様化するニーズに応える

B747-400F



現在、他社へのリースなどで運用

保有機材数：7 機
搭載重量：100 ton

B747-8F

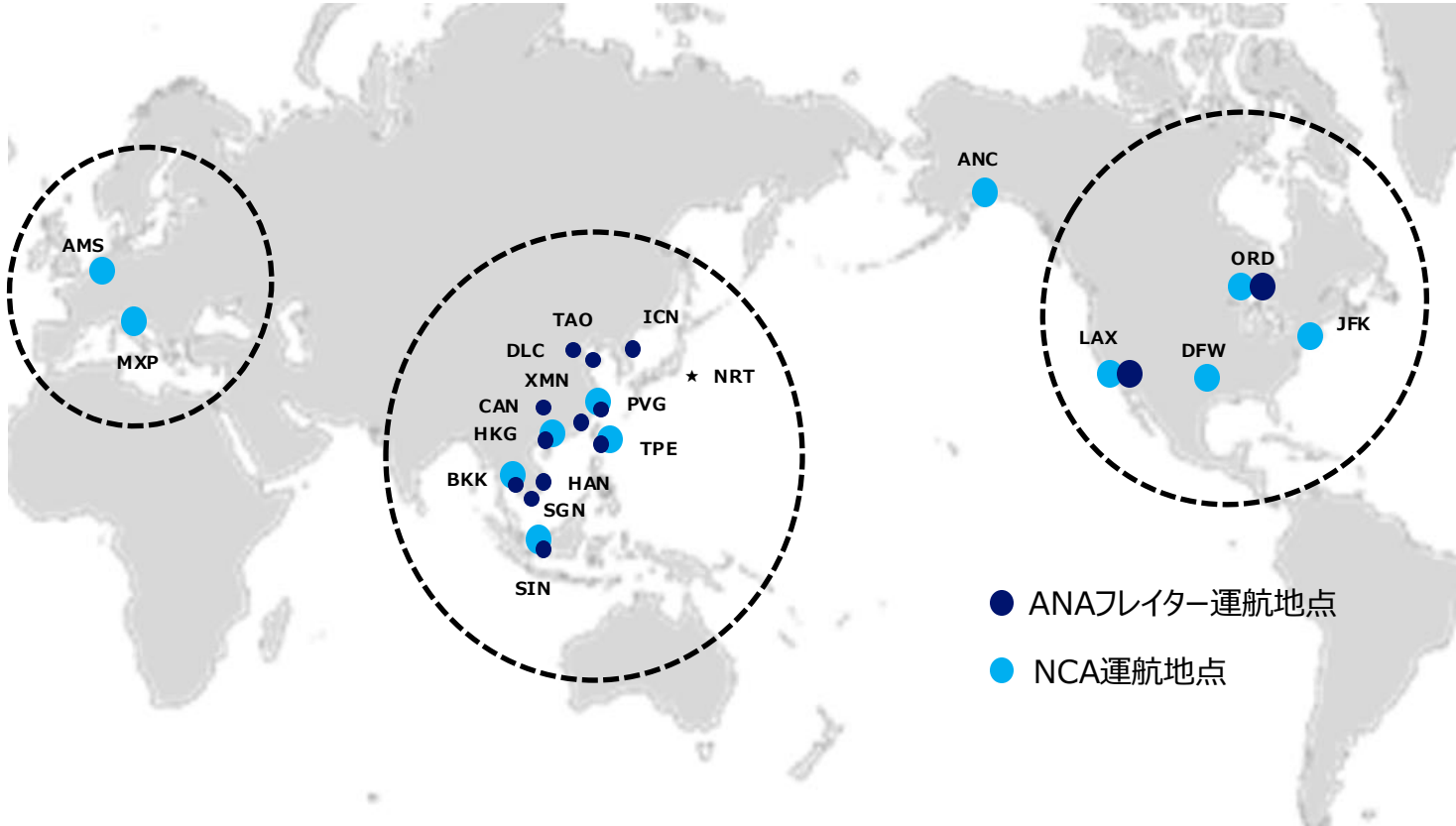


現行NCAの主力機材
欧米路線や中国アジアの大動脈路線を運航

保有機材数：8 機
就航路線数：11 路線
搭載重量：130 ton

3-2-1. 日本貨物航空(NCA)のグループ化

大型貨物便から旅客便まで、
様々な”路線 x 機材”の組み合わせで多様化するニーズに応える



NCA運航地点：日本貨物航空ホームページ 夏季基本運航スケジュールより作成

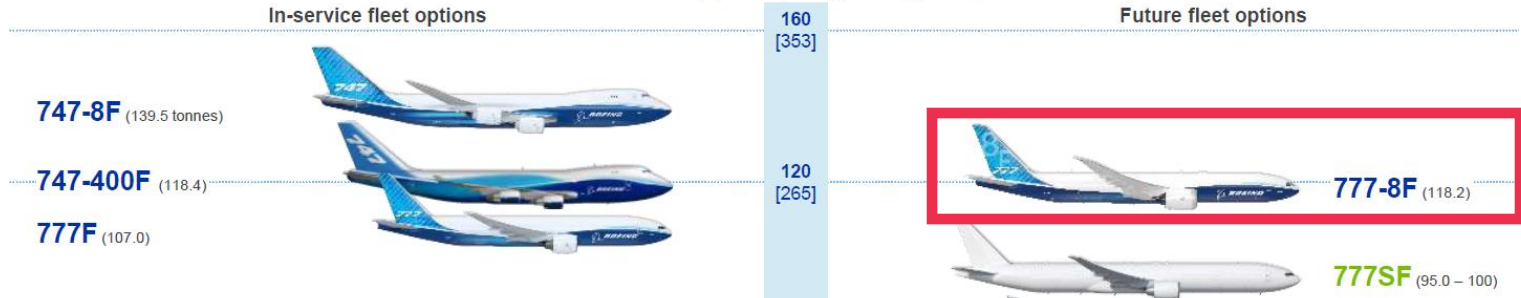
週間便数	ANA貨物便	NCA
北米	8	13
欧州	0	5
アジア	40	6
中国 ※香港含	49	19

NCA週間便数：日本貨物航空ホームページ 夏季基本運航スケジュールより算定

3-2-2. 新型貨物専用機の導入

最新鋭機材で経済性向上、環境にも配慮

搭載貨物重量



燃費比較



- 1 昨今の国際航空貨物市場動向（コロナ禍）
- 2 航空貨物の機会と課題
 - 2-1 機会
 - 2-2 課題
- 3 **ANA貨物戦略**
 - 3-1 コンセプト
 - 3-2 ネットワーク
 - 3-3 サービス品質向上とプロセス効率化**
 - 3-4 ありたい姿

3-3-1.

成田空港新上屋

上屋施設集約と最新自動化技術導入により、顧客の利便性を高める

成田空港にANA最大の貨物上屋となる第8貨物ビルが新設、2024年10月より運用開始

施設名：第8貨物ビル
供用日：2024年10月（予定）
規 模：鉄骨造2階建
延べ面積:約6.1万㎡
(うち、上屋面積:約3.8万㎡)



3-3-1. 成田空港新上屋

上屋施設集約と最新自動化技術導入により、顧客の利便性を高める

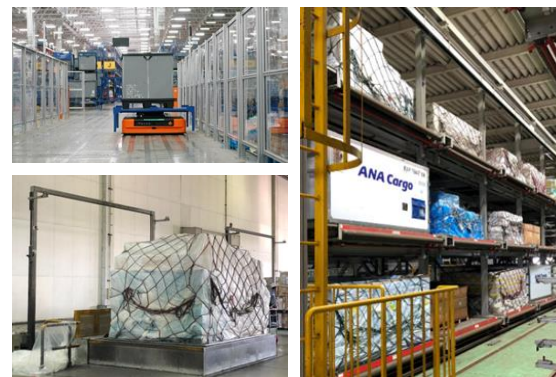
施設集約



6カ所に分散している施設を集約、
入退場ゲートの新設

貨物導線、トラック導線の
効率化によりリードタイムを短縮

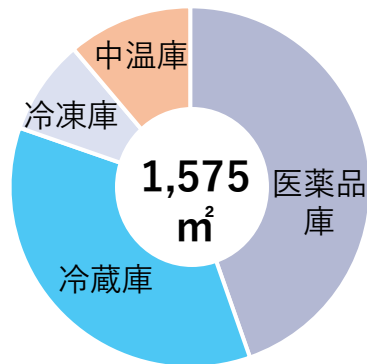
自動化



自動搬送車(AGV)、
自動ラックの導入

スピーディな
荷受け・荷渡し

温度管理施設



用途に応じた4タイプを新設、
前室やトラックポートを装備

より厳格な温度管理が可能に

環境



ZEB Oriented認証取得・
太陽光発電システムの導入

CO2の削減

3-3-2. BPR×新システム

『Smart Operation』で顧客へのシームレスな情報提供、社員の働き方を変革

動態情報を
タイムリーに提供



輸送中の
情報可視化



ペーパーレスで
書類チェック不要



シンプルで
整理されたオフィス



サービス品質の向上

業務プロセスの効率化
生産性の向上

ANAの目指すBPR

持続的な成長

IATA CEIV Pharma/Fresh認証取得

世界基準の輸送品質で、高付加価値貨物を安全に輸送



IATA CEIV認証

- ・ 国際航空運送協会(IATA)が策定した特殊貨物輸送に関する品質認証プログラム
- ・ GDPに適合した国際統一基準
- ・ ANAは医薬品・生鮮品に関わる認証を取得済

ANAの輸送商品 PRIOシリーズ



PRIO PHARMA



PRIO FRESH



PRIO SENSITIVE



PRIO VEHICLE



PRIO LIVE
ANIMALS



- 1 昨今の国際航空貨物市場動向（コロナ禍）
- 2 航空貨物の機会と課題
 - 2-1 機会
 - 2-2 課題
- 3 **ANA貨物戦略**
 - 3-1 コンセプト
 - 3-2 ネットワーク
 - 3-3 サービス品質向上とプロセス効率化
 - 3-4 **ありたい姿**

3-4. ありたい姿



高品質でサステナブルな航空輸送サービスにより、
顧客や社会のあらゆるニーズや期待に応えていきます



ご清聴ありがとうございました。